

第 67 回九州地区英語教育研究大会

67th Kyushu Regional English Education Research Seminar

沖縄大会案内

大会テーマ：「グローバル化に対応した
自律的英語運用能力の育成」

開催日時

令和元年

10月18日(金)

19日(土)



花笠マハエ

マハ朗

©OCVB

九州地区英語教育団体連合会

分科会 A (9:20 ~ 10:30)

| 分科会 | テーマ／タイトル | 校種 | 担当県 | 発表者 | 発表概要 |
|-----|--|----|-----|--|--|
| 1 A | テーマ 学習意欲を喚起し、 基礎学力の定着をはかる指導 | 高 | 熊本 | 高木 慎二 熊本県立 八代高等学校 | この商売を始めて 31 年。気づいたら残り時間が少なくなっていました。この期間に英語教育は大きく変わりましたし、現在も変化しています。その中で私自身が同僚の先生方と工夫や実践をしてきたことを、① 4 技能統合の英語指導② 多様な評価③ ラポール & リスペクト④ スキーマを広げる⑤ チームワーク、の項目別にお話しします。指導に少し悩みを抱えていらっしゃる若手や中堅の先生に聞いてほしいです。 |
| | タイトル 生徒の意欲を引き出す指導上の工夫 ～これまでに試したことから～ | | | | |
| 2 A | テーマ 読解力および聴解力を 高める指導 | 中 | 佐賀 | 木下 陽平 みやき町立 三根中学校 | 「佐賀メソッド」の Backward Design によるプロジェクト型学習について発表する。読んだ内容をプロジェクトゴールに結びつける方法や、その過程を提案し、協議する。生徒が主体的に読んだり聞いたりするための工夫や読んだ内容に関する Q&A Making などの Output 活動を通して、題材への深い理解を促す取り組みを紹介する。 |
| | タイトル 読解力および聴解力を高める指導 ～Output 活動を通して、深い理解を促す～ | | | | |
| 3 A | テーマ／タイトル Teaching Ideas to Improve Communication Skills | 高 | 宮崎 | 濱田 克哉 Emily Hammett 宮崎県立 延岡高等学校 | Through the Create a Country Project, our first-year students had the opportunity to express their own creativity through inventing imaginary countries and explaining their cultures, statistics, and the daily lives of the citizens. We will also present effective teaching English with the use of audio visual aids. |
| 4 A | テーマ 表現力を高める指導 | 中 | 宮崎 | 田中 美樹 西都市立 妻中学校 | 新学習指導要領の改訂のもと、暗記・再生中心の授業から、知識を活用して思考・創造・表現する授業を展開する必要が高まり、Listening と Reading の指導に偏りがちであった従来の授業から脱却し、Speaking と Writing を含めた 4 技能をバランスよく指導する必要性が生じる。そこで、統合型の指導と評価の在り方に関して工夫をし、考察をすすめたい。 |
| | タイトル 4 技能統合型の指導と評価の工夫 | | | | |
| 5 A | テーマ 望ましい小・中・高・大 の連携 | 高 | 沖縄 | 比嘉 太一 沖縄県立 浦添高等学校 | 本研究では発信力の強化に向けて、Office 365 の Class Notebook を活用したポートフォリオ活動に取り組んだ。Class Notebook に蓄積したパフォーマンス・テスト動画や自己評価、教師からの評価等の「学びのデータ」を活用して学びの振り返り (Reflection) を行い、生徒一人ひとりが課題解決に向けて主体的に取り組んだ。これらの一連の取り組みについて発表する。 |
| | タイトル 発信力強化に向けたパフォーマンス・テストとその評価の工夫 -Office 365 を活用したポートフォリオの実践を通して- | | | | |
| 6 A | テーマ／タイトル コミュニケーション能力 の育成を目指す指導 | 中 | 鹿児島 | 東 佑樹 鹿児島大学教育学部 附属中学校 | 即興的なコミュニケーション活動を行うために、中学校段階において談話能力や社会言語学的能力を高めることもまた有効な指導であろうと考えられます。この視点を踏まえ、各学校で実践してきた即興的なコミュニケーション能力の育成に向けた取組について研究発表を行います。 |
| 7 A | テーマ 教育機器を活用した英語指導 | 高 | 佐賀 | 谷口 広賢 佐賀県立 佐賀農業高等学校 | SGH 事業の一環として注力してきた、生徒の英語によるコミュニケーション能力向上を目的とした、系統的言語活動の実践とその後の成果について事例発表を行う。また、SGH 指定後の生徒の変容についても紹介する。 |
| | タイトル 系統的言語活動を通じた生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成～農業高校での SGH 事業における生徒の変容について～ | | | | |
| 8 A | テーマ 効果的な評価やテストのあり方 | 中 | 熊本 | 森 祐一 熊本市立 託麻中学校 | 「単元あるいは学期、学年の到達目標を意識したバックワードデザインによる授業設計 / CAN DO リスト形式での到達目標の設定とルーブリックを活用したパフォーマンス評価の実施 / 互いの考えなどを伝え合う言語活動と学びを振り返る活動の工夫」これらを中心に発表します。 |
| | タイトル 「英語で互いの考えなどを理解し、伝え合える生徒の育成を目指す」～バックワードデザインによる授業設計を通して～ | | | | |
| 9 A | テーマ 小学校における外国語活動 | 小 | 沖縄 | 上江洲 育子 宜野湾市立 大山小学校 | 新学習指導要領では、小学校において「書くこと」を慣れ親しみとして指導することとしている。小学校文化に根差し、発達段階に応じたスモールステップでの指導とその効果について発表し、中学校へのつなぎを提案する。 |
| | タイトル 「文字の導入」から「書くこと」の指導の在り方とその効果 ～発達段階に応じた小学校ならではの書くことへの慣れ親しみを通して～ | | | | |

分科会 B (10:50 ~ 12:00)

| 分科会 | テーマ／タイトル | 校種 | 担当県 | 発表者 | 発表概要 |
|-----|---|----|-----|----------------------------|---|
| 1 B | 学習意欲を喚起し、 基礎学力の定着をはかる指導 | 中 | 福岡 | 前田 範幸 福岡市立 原北中学校 | 1 学年次は、小学校からの適度な段差を作り、帯学習や Small output 活動の充実をはかった。2 学年次でも引き続き、学びの段差（帯活動、語彙指導、教科書の音読の際のタスク設定、表現活動等）を調節し、活発なインタラクションを育むための授業作りを研究し、取り組んでいる。今回はその指導実践についての発表をさせていただきます。 |
| 2 B | 読解力および聴解力を 高める指導 英語ディベートを中心とした 読解力・聴解力の育成 | 高 | 大分 | 古屋 智昭 大分県立 大分上野丘高等学校 | 英語ディベートは様々な英語技能の育成において大変効果的です。授業での実践例を紹介し、特に読解力と聴解力に焦点を当て、どのようにこの活動が寄与するのかということについて発表します。 |
| 3 B | Teaching Ideas to Improve Communication Skills Practicing small talk | 中 | 沖縄 | 宮國 貴史 金武町立 金武中学校 | I'll report on my practice having small talk in class, where students use words and phrases which they've already learned, then try to continue the conversation and interact with each other impromptu in order to develop students' speaking ability. |
| 4 B | 表現力を高める指導 3 Q で発問力と読解力を 付ける | 高 | 鹿児島 | 勇 やよい 鹿児島県立 大島高等学校 | 3Q とは長文読解において教員が作成する質問を、3つの単語から生徒が再生する活動である。その発問の中に推論発問（田中 2011）を取り入れることで、生徒の読みが表層的なものから、より深いものに変化することが期待できる。また同時に疑問文を生徒が作ることで、疑問文を作るという文法操作に慣れていき、会話におけるコミュニケーション活動でもより効果的な発問を生徒自ら作することを期待した実践を紹介する。 |
| 5 B | 望ましい小・中・高・大 の連携 中学校を軸とした小中高 大連携の取組について | 中 | 長崎 | 濱崎 美保 長与町立 長与第二中学校 | 新学習指導要領では、小中高における学習との接続の観点を踏まえ、内容や学習指導の改善が図られている。そのため、小中高の円滑な接続のための英語授業を創造したいと考え、本主題を設定した。具体的には、生徒の実態把握と校種間の意見交換などをもとに取り組んだ「読む力を高める」ための単元構成、授業改善を中心に発表を行う。 |
| 6 B | コミュニケーション能力 の育成を目指す指導 福岡県立香椎工業高等学校におけるコミュニケー ション能力育成を目的とした英語科指導の取り組み | 高 | 福岡 | 川端 祐貴 福岡県立 香椎工業高等学校 | 本校は工業高校であるために生徒が3年間で英語の単位は7単位のみである。英語の学習に充てられる時間数は限られているが、将来彼らが海外で勤務し、英語を中心としたコミュニケーション能力が求められる可能性は大いにある。相手の意思を受け取ろうとする姿勢や、間違いを恐れずに自己表現をする力を付けさせるために、本校英語科が取り組んでいることを発表させていただきたいと考えている。 |
| 7 B | 教育機器を活用した英語指導 「即興的な発表活動のための I C T 機器を使ったスピーキング指導」 | 中 | 大分 | 田口 智紗 豊後大野市立 朝地中学校 | 教師一人に対し生徒数十人という一斉授業の中で、英語を話す力を生徒にどのように身につけさせるか、I C T 機器を利用した実践を紹介する。また、指導前と指導後の変容を分析し、成果と課題について考察する。 |
| 8 B | 効果的な評価やテストのあり方 Speaking skill の向上に向 けた授業作りと評価の研究 | 高 | 長崎 | 村岡 拓治 長崎県立 口加高等学校 | 2020 年度からの新入試に向け、英語を話す力の必要性がますます増している。従来のインプット中心の授業ではなく、生徒にタスクを与えながら、インプットとアウトプットをバランス良く行う授業作りに取り組んできた。 |
| 9 B | 小学校における外国語活動 自分の考えや気持ちを伝えあうことのできる指導の工夫～小学校外国語に おけるやりとりを続けるための指導の工夫とスモールトークを通して～ | 小 | 沖縄 | 饒平名 陽子 豊見城市立 座安小学校 | 教科化を目前にひかえ、新学習指導要領の目玉であるやりとりについて、指導の工夫やスモールトークの活用を通して、子どもたちがどのように変容したか、これまでの取り組みを成果や課題等も含め発表します。 |

第 67 回

九州地区英語教育研究大会（沖縄大会）概要

主 催

九州地区英語教育研究団体連合会
沖縄県小学校英語教育研究会那覇
沖縄県中学校英語教育研究会
沖縄県高等学校英語教育研究会

後 援

沖縄県教育委員会
沖縄県市町村教育委員会連合会
公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団
那覇市教育委員会

目 的

九州地区小学校・中学校・高等学校の英語教育に関する諸問題を研究し、小学校・中学校・高等学校の連携を強化するとともに、大学との連携を推進し、これからの英語教育振興に期する。

大会テーマ

「グローバル化に対応した自律的英語運用能力の育成」

大会テーマ設定の理由

グローバル化の進展に伴い、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である。学校教育においては主体的・対話的深い学びを通して、生涯にわたって探求を深める未来の創り手としての児童生徒を育成することが求められている。英語教育においては、小中学校での基礎的・基本的な活動を通して育てることで、世界の様々な事象に目を向け、自ら課題を見つけ解決策を模索し学びに向かう力を育てていきたい。小中高が連携した英語教育を通して、児童生徒一人一人が豊かな人間性をもって多文化共生社会で生きる地球市民となることを願い、本テーマを設定した。

期 日

令和元年 **10 月 18 日**（金）～ **19 日**（土）

会 場

（1 日目 10/18）**奥武山公園 沖縄県立武道館アリーナ棟**
沖縄県那覇市奥武山町 52
（2 日目 10/19）**沖縄県立 那覇高等学校**
沖縄県那覇市松尾 1-21-44

日 程

< 1 日目 10/18（金） >

| | |
|-------------|--------------------|
| 受 付 | 8:30 ～ 9:00 (30) |
| 開会行事 | 9:10 ～ 9:30 (20) |
| 基調講演 | 9:45 ～ 11:05 (80) |
| 公開授業（小学校） | 11:20 ～ 12:05 (45) |
| 昼食（アトラクション） | 12:05 ～ 13:05 (60) |
| 公開授業（中学校） | 13:05 ～ 13:55 (50) |
| 公開授業（高等学校） | 14:10 ～ 15:00 (50) |
| 授業合評会 | 15:15 ～ 16:15 (60) |

< 2 日目 10/19（土） >

| | |
|-------|--------------------|
| 受 付 | 9:00 ～ 9:20 (20) |
| 分科会 A | 9:20 ～ 10:30 (70) |
| 分科会 B | 10:50 ～ 12:00 (70) |

公開授業者

| | | | |
|--------|-------|---------|--------------------|
| 小学校の部 | 授業者 | 眞喜志 直子 | (浦添市立 浦城小学校 教諭) |
| | 司会者 | 與那覇 綾子 | (那覇市立 若狭小学校 教諭) |
| | 指導助言者 | 大 城 賢 | (琉球大学教育学部 教授) |
| 中学校の部 | 授業者 | 宮 里 征 吾 | (那覇市立 松島中学校 教諭) |
| | 司会者 | 宮 城 真由美 | (那覇市立 石田中学校 教諭) |
| | 指導助言者 | 津 波 聡 | (沖縄国際大学総合文化学科 教授) |
| 高等学校の部 | 授業者 | 池 間 睦 子 | (沖縄県立 浦添高等学校 教諭) |
| | 司会者 | 金 城 優 樹 | (沖縄県立 宜野湾高等学校 教諭) |
| | 指導助言者 | 呉 屋 英 樹 | (琉球大学国際地域創造学部 准教授) |

基調講演

講師 ^{あざま よしはる} 安座間 喜治／Yo Azama

カリフォルニア州立大学モントレイ校 World Language Method Instructor
ノースサリナス高校 Lead District Coach

講師プロフィール

＜略歴＞沖縄県豊見城市出身。豊見城南高校、昭和音楽大学卒業後、渡米。カリフォルニア州立大学モントレイ・ベイ校教育学で修士課程修了。クラリンドン小学校、ガヴィラン中学校で勤務、ノースサリナス高校では2000年から教壇に立ち、現在はLead District Coachとして教員指導にあっている。また2015年からカリフォルニア州立大学モントレイ・ベイ校でもWorld Language Method Instructorとして教鞭をとっている。2011年 全米外国語教師最優秀賞、他、多くの賞を受賞している。趣味はジャズピアノ、サーフィン、ハイキング。日本語を教えるための本も出版している。

参加料の徴収について

参加料の徴収業務につきましては、株式会社日本旅行社沖縄に委託し、領収書は大会当日受付でお渡しいたします。

会場へのアクセスについて

できる限り公共交通機関をご利用下さい。公共交通機関及び駐車場の詳細は、大会ホームページ上にアップロードする予定です。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ※1日目会場：沖縄県立武道館 | ※2日目会場：県立那覇高等学校 |
| ▼沖縄都市モノレール | ▼沖縄都市モノレール |
| ・壺川駅 徒歩3分 | ・県庁前駅 徒歩11分 |
| ・奥武山公園駅 徒歩5分 | ▼バス |
| ▼バス | ・那覇高校前バス停 |
| ・軍機橋前バス停 徒歩5分 | 正門すぐ隣 |

問い合わせ先

九州地区英語教育団体連合会

第67回九州地区英語教育研究大会（沖縄大会）実行委員会

実行委員長：高良 正輝（たから まさき） 那覇高等学校

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 1-21-44 電話：098-867-1623

E-MAIL：takamaas@open.ed.jp



大会参加お申込み方法とお支払いについて

今回は大会運営業務の効率化を図るとともに、参加される皆様方へのサービス向上ならびに迅速な対応を行うため、「インターネット」を利用してのお申込みとさせていただきます。

■インターネットでのお申込み及び受付の流れについて



①大会専用ホームページにアクセス

<https://va.apollon.nta.co.jp/67kyushu-en>

参加費： 一般 / 4,000 円 小学校関係者 / 2,000 円 学生 / 1,000 円（当日受付のみ）

申込期間： 2019 年 7 月 1 日（月）～ 9 月 2 日（月）

初めての方は「新規利用登録」をクリックして、「代表者個人登録」のページへお進みください。

②個人情報の登録

★印は必須項目です

◎氏名・住所・連絡先等の必要情報を入力し、「確認画面へ」→「設定」をクリックします。

※個人情報の設定を受付けた旨の通知が、登録した E メールアドレスへ届きます。メールが届かない場合、アドレスの誤入力の可能性があります。「個人情報の編集」よりメールアドレスをご確認下さい。

次回以降、ID（E メールアドレス）とパスワードを入力の上、ログインし各メニューの申込、予約をご利用いただけます。

③参加登録・分科会・弁当申込み

★印は必須項目です

◎参加登録画面より参加登録を行います。「参加者」「参加種別」のプルダウンメニューから選択して下さい。

◎次に分科会の参加登録を行います。分科会 A・分科会 B と希望する分科会の「申込する」を選択して下さい。

◎次に弁当申込みの希望を選択していただけます。「申込する」「申込なし」のいずれかを選択して下さい。

◎以上の登録が完了しましたら、画面下部の「登録（参加登録を終わる）」をクリックして下さい。

◎登録後、申込み内容の確認メールが登録した E メールアドレスへ届きます。

④ホテル予約

※必須ではありません。不要の場合は何も入力する必要はございません。

◎施設名、プラン名（部屋タイプ）、宿泊日を選択して下さい。

◎登録後、申込み内容の確認メールが登録した E メールアドレスへ届きます。

⑤お支払方法の登録

★印は必須項目です。お支払方法は「クレジットカード」「コンビニ決済」「銀行振込」から選択。

◎お支払いのページの「(3) お支払方法の選択」から各々の入力画面へお進み下さい。

◎クレジットカードオンライン決済：「支払い対象選択画面へ」をクリックして項目選択の上「決済ページへ」お進み下さい。

◎コンビニ決済：利用するコンビニを選択して「次へ」をクリック。項目選択の上「決済ページへ」お進み下さい。

◎銀行振込：「銀行振込」を選択して「設定」をクリックして下さい。

※9月25日以降、お支払い後の「大会参加費」は返金できません。欠席の場合は、後日大会資料をお送りします。

お支払い期限： 2019 年 9 月 5 日（木）

⑥予約内容の確認

※自動返信メールでの確認のほか、お支払いページの「(2) ご請求書・予約確認書の表示」をクリックしていつでも予約申込内容、お支払い内容を確認することができます。

⑦変更・取消

※申込内容の変更、取消もホームページ上でお願いします。

◎「予約確認・変更」のページをクリックして、申込内容の画面を表示します。

◎変更の場合は該当項目の「変更」ボタンをクリックして変更内容を入力し最後に「内容変更」をクリックして下さい。

◎取消の場合は該当項目の「取消」ボタンをクリックすると「実行していいですか？」のメッセージが表示されますので「OK」をクリックして下さい。

◎操作完了後、予約・取消の内容確認メールが登録した E メールアドレスへ届きます。

※予約完了後、ホームページ上での変更、取消は 9 月 24 日まで可能です。9 月 25 日以降はできません。

※9月25日以降も、ホームページ上での申込内容の確認、閲覧は可能です。

⑧IDカード兼大会参加券・弁当引換券・宿泊確認書の送付

※ご入金確認後、10月上旬以降に送付いたします。

■参加登録・宿泊・弁当の変更・取消について

◎お申込み後、お客様のご都合による取消については下記の取消料を申し受けます。

なお、ご入金後の返金は大会終了後、11 月末日までに手数料を差し引いて精算させていただきます。

◎土日祝日、営業時間外の変更、取消は翌営業日扱いとなりますので予めご了承ください。

【大会参加費】 取消日：9月25日以降 100% 【宿泊】 取消日：宿泊当日 100%

9月24日までは無料

宿泊日の前日 50%

【弁 当】 取消日：10月17日以降 100%

宿泊日の7日～2日前まで 20%

10月16日 50%

宿泊日の8日前以前は無料

10月15日以前は無料

■お問い合わせ先

株式会社日本旅行沖縄 第 67 回九州地区英語教育研究大会 サポートデスク

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3 丁目 21 番 1 号 國場ビル 2F

TEL：098-860-9944 FAX：098-869-4705 e-mail：kyushu-en67@ntaoka.co.jp

営業時間：平日 9:30～17:30（土日祝休み）

担当：八木・東海